



目的別 / 1日研修

Revised

マスコミ対応研修

報道経験者ならではの 視点から学ぶメディアトレーニング

- 本研修の概要とねらい
職員の不祥事対応や災害対策など、行政に求められる危機管理能力とマスコミ対応力の基礎を学びます。模擬記者会見等の演習を等して報道陣の視点を学ぶとともに危機発生時に適確に対処できるようなスキル習得を図ります。
- 主なコンテンツ
危機管理・リスクマネジメント概論、マスコミ対応(理論編)、マスコミ対応(実践編)「報道陣を知る」、グループ演習「模擬記者会見」、ネット上のリスクマネジメント、情報発信のポイント
(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)
- 演習/実習の内容
・「模擬記者会見」
形式: サンプル台本活用・グループ発表形式
補足指導: 報道陣の取材ポイントなど 他多数
- 受講対象(推奨)

管理職級職員
- 講師からの一言
アナウンサー・報道記者経験に基づき、マスコミ対応のポイントを分かりやすくご説明します。ワーク重視型の研修で皆様のスキルアップをサポートします。



一般社団法人 日本経営協会講師
高木 圭二郎(たかぎ けいじろう)

一般社団法人日本経営協会講師。フリーアナウンサー。

マスコミ対応・危機管理、メディアトレーニング、広報PR、企画力向上、ビジネスコミュニケーション、プレゼンスキル等をテーマに多数の自治体や企業で研修を実施。

講師は茨城県内の記者クラブ取材や数々の災害報道を経験しており、具体的な実例を説得力を持ってお伝えするスタイルに定評があります。

本講師の他の研修

- 危機管理
- マスコミ対応
- 広報PR

マスコミ対応研修

1日研修タイムテーブル案

時間	プログラム	技法・進め方
9:30	◆ オリエンテーション ・講師挨拶、研修目的の共有、相互挨拶	
	1 危機管理・リスクマネジメント概論 ・リスクとクライシス ・ハインリッヒの法則 ～事象に潜むヒヤリ・ハット ・組織における危機管理～米国タイレノールの事例 ・公務員に求められる規範 ～ 懲戒処分データ 【ワーク】 緊急記者会見 気になった事（筆記・共有）	【講義】 【個人ワーク】 【グループワーク】
12:00	2 マスコミ対応 理論編 ・危機管理広報 と書類 ・記者の質問パターン 【ワーク】 想定質問記載（筆記・共有）	【講義】 【個人ワーク】
13:00	3 マスコミ対応 実践編 報道陣を知る ・記者会見の基本形式と役割分担 ・会見時の話し方・伝え方 ～ 話法・非言語情報 ・事例紹介 大学アメフト部会見・芸能人謝罪会見	【講義】 【事例研究】
	4 グループ演習：模擬記者会見 ・【ワーク】不祥事による模擬謝罪会見 ・形式：サンプル台本活用・グループ発表形式 ・補足指導：報道陣の取材ポイントなど	【講義】 【事例研究】 【グループワーク】
	5 ネット上のリスクマネジメント・情報発信のポイント ・炎上の定義 ～ 事例紹介 ・ネット上のリスク防止のポイント ・災害情報のマスコミ対応・WEB対応のポイント ・【ワーク】：アクションプラン記載（筆記・共有）	【講義】 【事例研究】 【個人ワーク】
16:30	6 ポイントチェック・フィードバック ・重要ポイントの再確認、参加者間コメント	【講義】

■ワンポイントメッセージ

- ◆元ラジオ局アナウンサー・報道記者による危機管理広報・メディアトレーニング研修です。講師は茨城県内の記者クラブ取材や数々の災害報道を経験しており、現場の実例や実践的な対処法をお伝えすることが可能です。危機管理の基礎項目に加え、茨城のラジオ局の報道経験者ならではの情報を紹介し、事例紹介やワークを織り交ぜ、受講者の危機管理能力向上をサポートします。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>